



No.2 令和3年9月27日(月) 2021-2号 創刊号

発行責任者: 松江総合医療専門学校理事長 澤田勝寛

isonare@ka2.so-net.ne.jp 毎月第2、4月曜発行 令和3年(2021年)9月13日創刊

◆「医の道」を発行して

創刊号を発行して2週間が経ちました。この「医の道」は、学生の皆さんだけではなく、学校や病院職員にも配布しています。

お配りした学生の皆さんだけでなく、職員からも反響があり、医療の良さを改めて見直したという声も寄せられています。医療を志すみなさんへ伝えたいことは山ほどあります。皆さんの「道しるべ」になるよう、月2回の発行を続けていく予定です。

◆医療従事者の資質

医療は理系の仕事と勘違いしている人が多いようです。確かに試験科目からみると、理系のようですが、仕事で、物理も化学も難しい数学も一切必要としません。

どのような人が医療従事者に向くかという、ある程度の基礎学力があり、人に親切で優しく粘り強い人です。そして、今の医療は多職種が一緒に治療を行うチーム医療ですから、コミュニケーション能力が必要です。

◆医療の目的

皆さんは高校を卒業するときに色々な選択肢があり、迷われると思います。何になりたいかわからず、大学に行き、何となく卒業し、何となく就職する人もいます。目的が分からないのです。

医療は違います。医療の目的は「体を病み心を病んだ人の、体を癒し心を癒す」とことと、はっきりしています。20数職種の医療職が、患者さんを救うという目的を目指して力を合わせて取り組むのが医療です。

◆医療はとってもいい仕事 その2 安定

前号に続き、医療はとってもいい仕事の理由を述べます。前号では、体の満足、頭の満足、心の満足について書き、医療は心の満足を満たされるいい仕事であるとお伝えしました。

今回は、安定についてお話します。この度の新型コロナウイルス感染症のパンデミックでは世界中が大きな被害と影響を受けました。様々な仕事にも影響が出ています。特に人が移動したり、人が集まる仕事、例えば飛行機、ホテル、飲食業などは、倒産や解雇が相次いでいます。

そんな中エッセンシャルワーカーという言葉が耳にされたことがあるでしょう。エッセンシャルワーカーとは、どんな時にでも必要とされる仕事で、社会基盤をなす業務に携わっている人をさします。

宅配、コンビニ、ごみ処理など色々あり、医療もまさしくエッセンシャルワークの代表といえます。

特にコロナという得体のしれない感染症に多くの人が罹患し、医療はその受け皿となりました。コロナが蔓延している中でも、色々な病気の方が来られます。在宅で仕事はできません。常に現場で患者さんに寄り添って医療を行うのです。これこそエッセンシャルワーカーそのものです。

このように、医療は社会がどのようになろうとも、必要とされる決して失業することのない、安定した仕事といえるのです。

前回お伝えしたように、日々の仕事の中で、自分が満たされ、おまけに安定しているわけですから医療はとってもいい仕事と言えるわけです。

◆学生の皆さんへ

「医の道」をスマホやパソコンへのメール配信もしております。ご希望の方は
isonare@ka2.so-net.ne.jp
へご連絡ください。



今なすべきことをなせ

過去を思うな
未来を願うな
過去は捨てられた
未来はまだやってこない
ただ、今なすべきことをなせ

釈迦